

7月, 8月の学校のイベントのご案内

大人から子供まですべての方へ。
夏休みは特別イベントが
盛り沢山です! (無料)*

*ロボット工作のみ
純材料費 500円が
必要です。

2012年7~8月のイベントをご案内致します。いずれも無料のイベントです。
■参加ご希望の方は、FAX・電話・Emailにてお申し込みをお願い致します。
■中学・高校生には「自習会」も開いています。詳細はお尋ね下さい。

学校法人 北白川学園 山の学校/北白川幼稚園
TEL: 075-781-3215
FAX: 075-781-6073
E-mail: taro@kitashirakawa.jp

●将棋道場

対象：小学生～中学生
座主：山の学校講師
定員：先着 20名

7/9 (月) 16:00 - 18:00
場所：山の学校教室



※フリーの対局スペースを設けています。
初心者の方も、安心してご参加下さい。
※事前にお申し込み下さい。

将棋道場は、いつも大勢の小学生で賑わっています。参加者は、全ての対局を「対戦カード」と呼ばれる横長の紙に記録していきます。初心者で、最初は勝てなくて悔し涙を流していた人も、「次こそは」という思いで対局を続けているうちに、次第に指し手や勝負の楽しさを覚え、白丸や黒丸で埋められたカードは、気がつけば束になっています。また、礼儀作法を重んじるのも将棋です。「よろしくお願いします。」「負けました。」「有り難うございました。」こうした挨拶を交わしながら、真剣勝負を通して、相手を尊重する姿勢も身につけてゆきます。その他、詰め将棋の問題をみんなで考えたり、指し手について学びあう時間もあります。

道場 トーナメント大会
8/20(月)
16:00 - 18:00
場所：第三園舎
★ 集え、挑戦者たち!
8月は、半年に一度のトーナメント大会です!

●英語特講

7/9(月), 8/20(月) 18:40 - 20:00

対象：中学・高校生
場所：山の学校教室
講師：山下太郎・山下あや

※それぞれの生徒に応じた問題を用意し、時間内でひたすら問題を解き続けてもらいます。それぞれの答案の採点をその場でしながらコメントしていきます。
※事前にお申し込み下さい。

●論語の素読・勉強会

7/21(土), 8/20(月) 8:30 - 11:00

※素読では、毎回論語の一節を紹介し、参加者皆で声を出して読みます。(8:30~9:00) 勉強会では各自が課題を持ち寄り、講師が監督する中、異なる学年間で教えたり、教わったりしながら、自発的に学び合う時を過ごします。(9:00~11:00)

★学年を配慮して座席を準備致しますので、前日までに、お申し込みをお願い致します。(定員 20名とさせていただきます。) ※会場は、参加者数に応じて山の学校教室に変更する場合がございます。当日、会場に掲示いたします。



対象：小学生
場所：北白川幼稚園第三園舎※
担当：福西亮馬、山下あや

●ひねもす道場

7/12 (木), 8/21 (火) 16:00 - 18:00

対象：小学3年生～中学生
場所：山の学校教室
講師：福西亮馬
定員：先着 10名

前半は「子どもたち vs 先生」で、「モス巻き対決」をします。後半は自由製作です。夏休みの自由工作にしましょう! 工作好きの本格派中学生も歓迎します。



※ひねもすとは、紙をまるめて作った大小2種類のパイプをつなげて作る工作です。部材そのものから自分で完成させる楽しみを味わうことができます。

●何でも勉強相談会

7/23 (月) 18:30 - 21:30

対象：中学・高校生
場所：山の学校教室
講師：浅野直樹, 山下あや

※講師が勉強や進路の相談などを幅広く受け付けます。
※保護者との面談も致します。



●かるた大会

8/22 (水) 9:30 - 11:30

『競技かるた』のルールで、百人一首のトーナメントをします。はじめての人も腕に自信のある人も、これを機にご参加ください。中学生もぜひ! 目指せ、名人、クイーン!

対象：小・中学生
場所：第三園舎
講師：福西亮馬
定員：先着 10名



●ロボット工作 「糸車戦車を赤外線LEDで動かそう」

8/23 (木) 16:00 - 18:00

対象：小3~中学生
場所：山の学校教室
講師：福西亮馬
定員：先着 10名

赤外線LEDを使って、糸車戦車の前進をON/OFFします。糸車戦車は、ダンボールを切って、赤外線LEDと電池ボックスを載せれば、できあがり。今回パソコン(プログラム)は使いません。(はんだづけも不要)。赤外線の仕組みが勉強できればと思います。※参加費(材料費)は500円です。



●オセロ教室

8/25 (土) 9:30 - 11:30

対象：小・中学生
場所：第三園舎
講師：中森弘樹
定員：先着 20名

★講師自己紹介
オセロ六段、2007,2010,2011年度オセロ近畿・北陸名人。京都大学の大学院生(人間・環境学研究科 博士後期課程)。



みんな一度はやったことがあるオセロ。このオセロ、だれでも手軽にできるゲームですが、「覚えるのは一分、マスターするには一生」ともいわれていて、じつはとっても奥の深いゲームだったりもします。この講座では、**オセロで勝つためのコツ**を分かりやすく解説します。もちろん、今回お話しするコツをマスターするだけで、まわりの家族や友達にはぜったいに勝てるようになりますよ! というわけで、みんなで楽しくオセロを学びたいという人も、一人でこっそりオセロを強くなりたいという人も、ぜひ気軽にオセロの話聞きに来てくださいね。

Ludus Collinus 山の学校
 講演・ディスカッション (参加無料)
古典語の夕べ
 —ラテン語と漢文—

2012 **8/24 (金)**
 於 北白川幼稚園第三園舎
 山の学校恒例のイベント「ラテン語の夕べ」。
 第25回となる今回は「漢文の夕べ」との2本立てで、「児童教育」という同一テーマにもとづいて考察します。**古典や教育に関心のある方ならどなたもご参加頂けます (無料)**。ふるってのご参加をお待ちしています (電話、E-mail、FAXにてお申し込み下さい)。

Ludus Collinus 山の学校
 ワークショップ (体験型講座 参加無料)
舞踏の夕べ
からだからから
おどるよだから

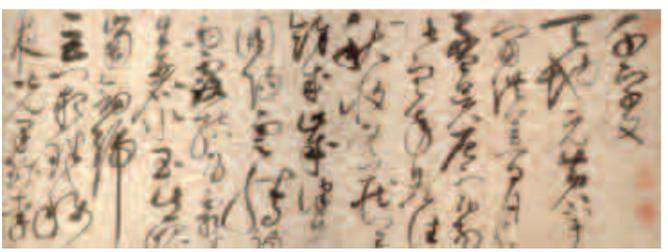
2012 **8/25 (土)**
 16:30-18:00
 於 北白川幼稚園第一園舎
 対象：一般の方 ※動きやすい服装でお越し下さい。
 講師：和田 浩

第1部 漢文の夕べ 16:30-18:00

古代中国の児童教育



近代以前の中国において、教養・学問はいかにして育成されたのでしょうか？後に勉強を積み重ねて一流の知識人となった人は、子供の頃に一体どのような教育を受けたのでしょうか？古代中国の子供達は、どんな本を読んで勉強したのでしょうか？現代日本とは異なる児童教育の方法に触れてみることで、ひいては、それを基礎として形成された知の在り方を理解することが、今回の講演のテーマです。例えば『論語』や『孝経』は古来より児童が最初に学ぶ教科書であり、識字・道徳教育の書



物として用いられました。また「天地玄黄」から始まる一千文字の韻文『千字文』は、児童に漢字を教えるためのテキストであり、書道のお手本にもなりました。このような児童教育に用いられた書物を紹介し、古代中国の人々の子供時代の勉強についての漢文資料を参照しながら、人間形成の基礎となる児童教育についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

講師：村田 滯 (京都大学文学研究科 学術振興会特別研究員 PD)

踊りとは、いったいどのような行為でしょうか。リズムにあわせて、とんだり、はねたり、まわったりして、爽快感を得ること？なるほど、確かにそれも立派な踊りであるに違いありません。しかし、踊りにはもっとさまざまな可能性があるはず。例えば、野に咲く花や流れる水をからだで表現することや、ことばの壁を乗り越えて他者とコンタクトすることや、風と一体となって青空の下を漂うことだって、立派な踊りです。そしてこのような踊りならば、特別に鍛え上げられた肉体を持つ必要はありません。

ほんのちょっとした想像力さえあれば、誰にだって踊ることができるのです。また逆に、踊ることを通じて、想像力を逞くすることだって、できるのです。「舞踏の夕べ」では、こうした踊りの一端に触れていただくことで、みなさんに踊りの魅力を感じていただきたいと思います。そして、このイベントを通じて、皆さんの日常を彩る風景がほんの僅かにでも変貌することを、願っております。

2012 **8/25 (土)**
 18:30-20:00
 於 北白川幼稚園第三園舎

Ludus Collinus 山の学校
 講演・ディスカッション (参加無料)
建築の夕べ
物語と建築



デンマークのクロンボー城を訪れた物理学者のニールス・ボーアは、同行のヴェルナー・ハイゼンベルクにこう問いかけました。「ここにはハムレットが住んでいたのだと考えただけで、たちまち、この城がそれまでとは変わって見えてくるのはおかしなことだと思いませんか」と。城というものは石材だけでできている。ハムレットが住んでいたという事実によってどこも変わるはずがない。しかし、その事実を知った後では、この城は、2人の天才物理学者に対してさえ、まったく別の言葉を話しはじめる。

「城の中庭は一つの世界になり、薄暗い場所は私たちに人間の魂の中にある暗黒を思い起こさせ、ハムレットの『生か、死か』という声が聞こえてきます」。つまり人間にとって建築は、物理的な構造物以上の何かなのです。——物語が文字の羅列以上の何かであるように。この講演では、物語のなかに登場する建築、あるいは建築のなかにある物語について、お話ししたいと思います。北白川の帰り道、街並がいつもと違って見えるかもしれません。

第2部 ラテン語の夕べ 18:30-20:00

古代ローマの児童教育

親は子をどのように教育すればよいのか？古今東西、子どもの教育についてはみんな悩んできました。ローマ人も例外ではありません。今回の講演では、当時の教育観を色濃く映し出す文学作品として、喜劇作家テレンティウスの『兄弟』を取り上げます。この作品の表向きのテーマは、じつにわかりやすく目に映ります。子どもは厳しく育てるのがよいのか、一人一人の自主性を尊重し寛大に育てるのがよいのか、どちらなのか。じ

つは、答えはどちらでもない、というのがこの作品のオチです。ベストな教育を求めたり、自分の教育観をベストだと思込む人間の心の「こわばり」を解きほぐすのが、この作品のねらいだと言えるかも知れません。どこをどう読めばそのような解釈が可能なのか。原文の訳を紹介しながら、この作品の本当のテーマ、親と子が心を通わせる真の条件は何かについて考えるヒントをご提供できたらと願っています。



Publius Terentius Afer 195/185-159 BC

お申し込み・お問い合わせはこちらまで
 学校法人 北白川学園 北白川幼稚園/山の学校
 TEL: 075-781-3215
 FAX: 075-781-6073
 E-mail: taro@kitashirakawa.jp
 http://www.kitashirakawa.jp/yama-no-gakko

山の学校は、小学生から大人を対象とした新しい学びの場です。「Disce libens. (楽しく学べ)」がモットーです。中高生のための徹底した少人数指導のクラス、社会人のための語学クラスも充実。子どもは大人のように真剣に、大人は子どものように童心に戻って学びの時を過ごします。

